

テーマ：新学力時代は『私学の時代』。『生徒成長』の数値(データ)化が私学を押し上げる
副題：今回の高大接続改革は、すべての学校を同じスタートラインに立たせてくれた！！

進学実績はもちろん大事だが、新時代はそれ以外の領域への注目がカギを握る

学力向上策の総括～アピールポイントの創出

を一緒に考察しませんか。

『新学力の向上策』と『新しいアピールポイント』はセットで検討する

見えない学力の選定・向上から広報戦略までをどのように策定していけばいいかについて考察します

★ルーブリック評価やポートフォリオ評価を新学力や生徒募集にどのようにつなげていけばいいか、も紹介します

小中学生の保護者はまだ新しい大学入試にピンときていない人も多いから、学校の方針もまだ特定できないとされている学校も多いかと思えます。が、昨年の11月に、2021年1月より導入予定の「大学入学共通テスト」の為に試行調査が実施されました。知識だけでなく、総合的な思考力が問われる特徴を見ることができました。また、東京大学や京都大学などの国立大学においても、推薦入試やAO入試の拡大の動きがみられます。そして、この1年ほどの変化スピードを顧みますと、この新しい学力観への注目度は想像よりも早いスピードで進むのではないかとの見方ができます。今回のセミナーはこのようなスタンスに立ったときにこれまでの序列は関係なくなるのではないかという発想からの具体的な提案でございます。万象お繰り合わせの上、ご臨席賜りますようお願い申し上げます。



【セミナー内容抜粋紹介】

- 定員近く毎年集まっていることで、暗黙の安心感のようなものが広がりがち。
- 改革をして内部に不満が生まれた他の学校をみて、改革の必要性が揺らいでしまいがち。
- 学校はブラック企業と言われ働き方改革を意識するあまり大事なことを見失ってしまいがち。
- 生徒が集まる良い取り組みだったのに、大変だからと中止を検討するなど、その見極めを見誤っていないか。
- 進学実績がものを言うのだからと、進学実績や授業時間や補習などを強調し過ぎていないか。
- 見えない成長領域(例えば、思考力・判断力・表現力)の重要性が叫ばれているのに、見えない成長領域をデータで示すことに遅れをとっていないか。
- アンケート調査を行っているが、その中からアピールデータが抽出されているか。
- 模擬試験を行っているが、その中からアピールデータが抽出されているか。
- 学校(生徒成長)の現状を数値で確認する体制(習慣)が根付いていないことに危機感を持って取り組む。
- 経営者・管理職・中堅教員・若手教員。各々が傍観者的に現状を嘆くのではなく、気づいた人が肚を決めてやり抜く。

株式会社ヒューマン・リンク
TEL:075-212-7015
FAX:075-212-7016
京都市中京区泉正寺町 328

◆主要な参加対象者は
管理職・募集リーダー・
学力向上担当部長(主任)

セミナー概要

東京会場	2月19日(月)	アルカディア市ヶ谷	各線「市ヶ谷」駅 徒歩2分
広島会場	2月26日(月)	RCC文化センター	JR線「広島」駅 徒歩8分

時間は、いずれの日程とも、14:00～16:30(受付開始13:45)。講師は、稲葉人司(弊社代表取締役)
参加費はお一人様 10,000円(税込)でございます。当日に会場受付にてお支払い手続きください。

お申込み

参加ご希望の方は下記の「FAX申込書」をご返信下さい。弊社にて受付確認後会場地図をお送り致します。

【2月 私学経営セミナー FAX申込書】

東京会場 2月19日(月) 広島会場 2月26日(月)

本申込書は FAXにて 0120-075-347 まで

貴校名	TEL;	FAX	
ご参加者	お役職;	MAIL	
ご参加者	お役職;	MAIL	

☆3名様以上のお申込みは恐れ入りますがコピーしてご使用ください。